

事業所名

すくすく塾御幸

児童発達支援 支援プログラム

作成日

令和7年

2月

19日

法人（事業所）理念	それぞれの個性を尊重して可能性を信じ、一人一人が輝けるように思いやりと優しさを持って支援します。		
支援方針	・子ども一人一人が安心感と信頼感を持って、主体的に活動出来るよう遊びを工夫します。その中で、豊かな感性や表現する力を養い、コミュニケーション能力の向上・自己決定できる力を育みながら、自信と意欲を培っていきます。子どもと家庭の困り感やニーズに寄り添い、適切なアセスメントを元に、個別療育と小集団を取り入れながらオンラインの支援を行っていきます。		
営業時間	平日 土・祝・長期休暇	11時00分から 9時15分	20時00分まで 18時15分
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
本人支援	情緒・発達支援	・情緒を育む ・学習の基礎となる認知機能（覚える・数える・写す・見つける・想像する等）を育み、学習の土台を作ります。	
	健康・生活	生活リズムを整え、基本的な生活習慣を獲得する。 【食事】食事のマナーを理解・姿勢保持、道具操作の向上 【更衣】身だしなみの意識・ボタン掛け、紐結びの向上 【排泄】排泄感覚の発達・排泄の予告・トイレでの排泄 【生活リズム】1日の流れ・片付けの習慣・気持ちの切り替え	
	運動・感覚	全身の感覚を刺激し、運動能力と感覚統合を養う。 【感覚探求・低反応】感覚刺激の受け取り方の適応反応を促す 【バランス】姿勢・バランス機能の向上 【身体図式】自分の体の位置を把握する力の発達を促す 【手指の感覚】感覚機能の向上・つまむ力の向上 【感覚過敏】感覚過敏の受け取り方の適応反応を促す、過敏さの軽減 【集中力】集中して取り組める時間が増える 【姿勢】粗大、微細運動能力の向上 【視知認知】目と手の協調性の向上	
	認知・行動	興味関心を引き出しながら、試行錯誤する経験を通し、自己選択・自己決定が出来るよう導き、生きる力を養う。また、特性を踏まえ、こだわりや認知の偏り等に配慮する。 【概念形成】イメージ力を養う 【三項関係】物を介した人とのやり取りができる 【指示理解】会話の内容（指示を含む）を理解する 【語彙力】語彙力・記憶力の向上 【思考力の向上】 【判断力の向上】 【表現力の向上】 【解決行動の獲得】 【回避行動の獲得】	
	言語コミュニケーション	話したい感情を動かし、伝えたいというコミュニケーション意欲を高め、思いを言葉に変え相手に伝わる経験を積み重ねる。 【概念形成】 【語彙力・語想起の力の向上】語彙力の向上・聴覚把持力の向上 【記憶力】記憶力の向上 【共同注意】他者とやり取りをすることが出来る 【説明する力】説明する力の向上・コミュニケーションスキルの獲得 【発声発語器官、構音】発音する力の向上 【文章構成】説明する力の向上	
	人間関係社会性	自他に対するアタッチメント（愛着）の形成を目指し、遊びを通じて気持ちや感情の調整が出来て、仲間作りや社会性を培っていく。 【二項関係】他者に興味を示す 【三項関係】ものを介した大人とのやり取りが出来る・幼児があるときに大人を呼ぶ事が出来る 【模倣】人の動き、言葉を模倣する 【他者視点】相手の気持ちを想像し行動する 【抑制機能】順番を待つ、遊びを理解出来る・物事を我慢しようとする 【状況理解】状況やルールを理解する	
家族支援	・子どもの成長の場を確保し、環境を整え、家族及び関係機関との情報連携を実施する ・保護者が子どもの発達や障がい理解し、その成長に応じたニーズの変化を受け入れ、肯定的に支えられるように信頼関係を構築し、相談援助を実施する	移行支援	・関係機関（他事業所・相談支援・保育・教育機関）と連携し、情報共有することで一貫性のある支援を行っていく ・ライフステージの切り替えを見据えた社会参画のサポート
地域支援・地域連携	関係機関（他事業所・相談支援・保育・教育機関・医療機関）と連携し、情報共有することで一貫性のある支援を行っていく	職員の質の向上	・外部講演会・各種勉強会・研修への参加と実施 ・支援方針・支援方法についての内部研修・情報共有
主な行事等	・イベント的活動の実施（製作・食育・おでかけなど） ・防災・避難訓練		